



中小っ子

令和6年 1月30日発行

No. 10

発行責任者：和嶋 康彦



1904年(明治37年)4月26日開校【美濃開墾合資会社事務所にて授業開始】～2023年(令和5年)開校120周年

学校ホームページへはこちら👉

学年のまとめをしよう

校長 和嶋 康彦

1月16日(火)より3学期がスタートしました。年も変わり、令和6年(2024年)が開幕。子どもたちも職員も、心機一転新たな目標を立てて、清々しい気持ちで過ごしています。

しかし、今年の冬休みは、1月1日の「能登半島地震」発生以降は、平穏だったお正月気分を崩壊させ、その被害の大きさは日本中を悲しみに沈ませました。

この出来事を通して、改めて子どもたちに伝えたメッセージは、「地震はいつ起きるかわからない」「自分の命は自分で守る」ということです。

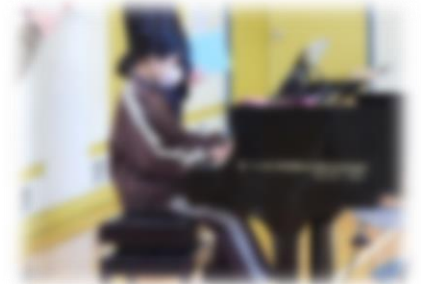
そして、今の生活は、当たり前ではなく、様々な人が支え協力し合って成り立っているということです。暖かい部屋、明るい光、家族の優しさなど日常の大切さに改めて感謝することを伝えました。

最後に、「学年のまとめをしっかりしよう」と伝えました。3学期は46日間しかありません。その期間に、今の学年の仕上げと、次の学年への準備を行います。子どもたちが、次の学年に向け、進級への準備を進められるよう職員一同サポートして参ります。

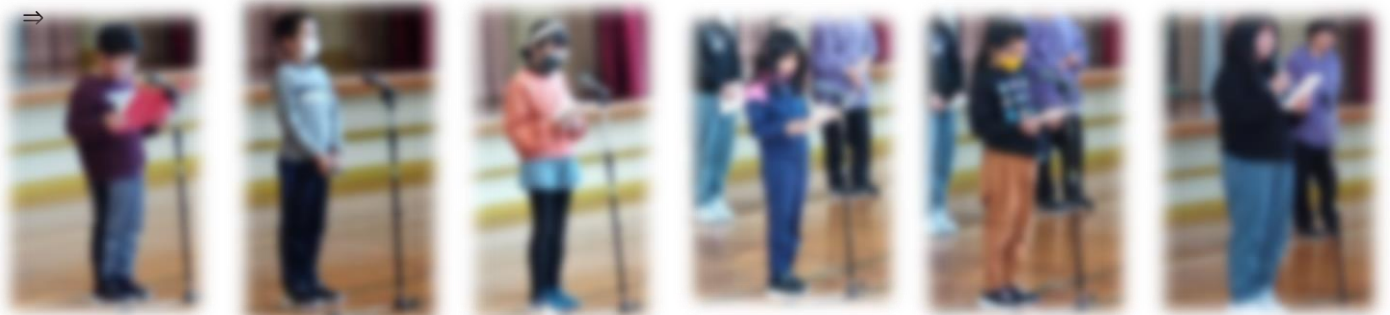
令和6年(2024年)も、地域・保護者の皆様には、本校の教育活動の推進へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

終業式・始業式の発表

終業式は偶数学年、始業式は奇数学年の代表が、思い出や抱負を発表してくれました。思い出では、経験したことや感想を交え、様子をわかりやすく伝えていました。抱負では、挑戦してみたいことに理由を加えながら話していました。子どもたちの表情には、新年に向けての決意が見えます。子どもたちの思いを、職員一同大切に育んでいきます。



終業式・始業式で校歌を伴奏してくれたのは、5年生の松村さん。開校100周年の際に寄贈されたピアノで、素敵な伴奏を奏でてくれました！



2学期終業式(偶数学年、左から2・4・6年生)

3学期始業式(奇数学年、右から5・3・1年生)

*誌面の都合上、学年1名のみ掲載しています。

令和5年度 第2回学校評価(児童・保護者)アンケート結果

昨年末にご協力いただいた学校評価アンケートの結果を学校 HP で公表いたします。項目毎の数値は、HP をご覧ください。学校だよりでは、誌面の都合上、児童評価と保護者評価の分析(概要)のみ掲載いたします。

【児童評価】32名(回答率100%)

- 「十分、概ね達成」を選んだ児童が80%以上の項目は、11項目中、6項目あり、前向きに取り組む児童が多くなります。しかし、前期と比較してみると、全体的には低下している傾向があります。これは、一部のお子さんが自分自身を厳しく評価している事、または自己肯定感が低下している状況になっていることが推察されます。学校では、お子さんの困り感や課題意識を把握し、寄り添っていきます。
- 読書の項目は、安定してやや苦手な傾向が続いています。学級や児童会で様々な取組を進め、図書に触れる機会を創出しています。しかし、学校全体の子どもたちに、十分な読書習慣は定着していないようです。町の図書館と連携もとりながら、より良い読書習慣の形成に努めてまいります。
- 道徳やいじめの項目についても、前期より低いポイントになっています。道徳の授業だけではなく、学校の教育活動全体を通じて思いやりのある気持ちを醸成していくよう養われるよう取り組んでいきます。
- 環境教育の項目についても、前期より低いポイントになっています。児童会三役で始めた「クリーン作戦」では、全校縦割りで廊下の壁など普段の清掃では行っていない箇所に取り組むなど、美意識を養う活動を行ってきました。今後も、学級での清掃活動を基本に、子どもたちの意識を高める取組を進めてまいります。

【保護者評価】(回答率96%、近年最高値)

- 「十分、概ね達成」を選んだ80%以上の項目は、全ての項目でした。学校の取組について、一定の評価をいただいたことにおごらず、これからも日々の取組に真摯に誠実に取り組んでまいります。
 - 学習指導の項目では、前期の降下から回復し前年度と同様のポイントまで回復しました。今年度から低学年は複式学級となりました。特に1・2・3年生の保護者の皆様には、複式学級になることへ不安を感じる方もいたと推察いたします。そのような現状でも、学年を越えた学び合いや 協力、絆など多くのメリットも感じられたのではないかと感じております。今後も児童数は減少に向かっていくようです。今後も、複式教育の指導について研鑽していきます。
 - 挨拶・安全教育の項目は、前期と比べわずかですが下降しています。挨拶の項目は、登下校や朝・帰りの会など、様々な教育活動において、「相手を意識した挨拶」に引き続き取り組んでいきます。安全教育の項目は、新型コロナが5類に移行し、衛生面への備えがやや薄れてきているように感じます。3学期は、空気が乾燥し、感染症などのリスクが高まる時期です。子どもたちに基本的な生活習慣を定着させ、自己管理できるよう働きかけていきます。
- ※自由記述にも、ご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見や意図を丁寧に読み取り、本校の教育活動の改善に生かしてまいります。

冬休みの作品発表会

長期休業中に作った「冬休みの作品」が集まりました。どの作品も、子どもたちの思いがあふれ、作り手のこだわりや工夫が感じられます。

作品発表会は、1月26日に実施しましたが、展示は1月31日まで実施しております。スケート記録会(1月31日)終了後、お時間のある方は、是非ご覧ください。【会場：1階 図書室】

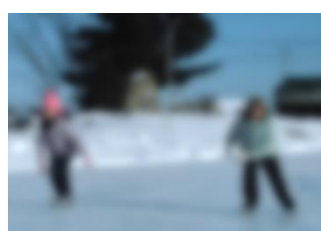


中小リンクでスケート授業 ~ 1月31日は記録会



今シーズンも、「中小リンク」が完成し、学校の授業や少年団などでたくさん利用しています。これは、スケートリンク造成会(小川貴道部長)の皆様が、今年の元旦から散水作業を行い(1月12日完成)、散水車約100杯の水を夜から朝にかけて散水してくださったおかげです。本当にありがとうございました。また、完成後も、維持管理のための散水作業にも感謝しております。スケート授業の際には、靴紐しばりにお越しに来てくださった保護者の皆様にも、心より感謝申し上げます。

子どもたちは、スケートの授業が楽しみで、滑る度にどんどん上達しています。特に低学年の子どもたちの伸びは大きく、目を見張るものがあります。上級学年では、目標タイムを設定しながら練習を進めています。1月31日(水)には、中小リンクで記録会を行います。詳しくは、それぞれの学級通信をご覧ください。保護者の皆様の応援を、お待ちしております。



冬休みのチャレンジ学習(中士幌小1日と、士幌小で3校合同)



冬休みに行われた「チャレンジ学習」には、2日間で延べ7人の児童の参加がありました。2日目の会場は、士幌小で行いました。残念ながら士幌高校の生徒さんは参加できなかったのですが、会場には上居辺小の子どもたちも参加し、3校合同での学びとなりました。

後半は、下の句カルタ(百人一首)で交流しました。コロナ禍で、今まではなかなかできない遊びでしたが、やっとできるようになり、読めない札を確認しながら遊んでいました。

お知らせ

「大谷選手からグローブが届きました!!」

アメリカ大リーグで活躍中の大谷翔平選手より寄贈された「野球グローブ(右きき用2、左きき用1)3セット」とメッセージ「野球しようぜ」が届きました。始業式の中で、校長より紹介し、児童会三役に手渡されました。現在、児童玄関前に展示しています。春になり、グラウンドが使えるようになったら、大いに使ってもらいたいですね。



2月の行事予定

- 1日(木) 研修日^⑬
- 2日(金) 児童会^⑮、スケート記録会予備日
- 5日(月) 第8回町教育研究所員会議
- 6日(火) 全校朝会^⑨、一日体験入学
- 7日(水) 分掌会議(5時間授業)
- 8日(木) 合同宿泊学習、十勝教育研究所員研修会
- 9日(金) 合同宿泊学習、漢字検定
- 10日(土) 士幌町リンク納め記録会(町営リンク)
- 11日(日) 建国記念の日、中士幌公民館まつり
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 二計測(～22日)、職員会議(5時間授業)
- 14日(水) 実技研修
- 15日(木) スキー体験学習(新得山スキー場)
「お弁当の日」
- 16日(金) 算数検定
- 19日(月) 年度末反省会議^⑮
- 20日(火) 年度末反省会議^⑮
- 21日(水) 校長会議、教頭会議
PTA第2回役員会議
- 22日(木) 児童会^⑮(総会・選挙)
- 23日(金) 天皇誕生日
- 29日(木) 町振興会推進委員会

「スキー体験学習」

2月15日(木)は、スキー体験学習を予定しています(荒天の場合は中止)。場所は、新得山スキー場です。自前のスキー用具を使用する場合は、事前の用具点検をお願いいたします。(靴のバックル、ビンディング、滑走面など)



また、この日は、「お弁当の日」となります。士幌町では「お弁当の日」を設け、子どもたちがお弁当づくりに関われる機会としています。

ご家庭で、メニューの相談や買い物、お弁当づくりなど可能な範囲で構いませんので、子どもたちがお弁当づくりにかかわれる機会を設けていただければ幸いです。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。